

検査成績評定項目別評定表(土木)

	細目	評価	評 定 対 象 項 目	
完	施工管理		提出書類は整っている。	
			契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。	
			特記仕様書の規定は守られている。	
			材料搬入調書の数量は必要量入っている。	
			施工管理記録が整理されている。	
			工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種・撮影時期・撮影方法とも適切である。	
			各工種の施工過程は仕様書等に基づいていることが確認できる。	
			現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が、契約内容を熟知している。	
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。	
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。	
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。		
		評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点	
	了	品質管理		材料の品質規格証明書(ミルシート・検査証明書等)は整理されている。
			品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。	
			品質試験の結果は規格値を満たしている。	
			使用材料の規格は契約書と適合している。	
			仕様書等の施工規定は守られている。	
			完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている。	
			品質管理についての工事記録写真が整理されている。	
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。	
		評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点	
確		出来形		出来高数量は、契約数量を満たしている。
			出来高数量の算出根拠は、整理されている。	
			出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。	
			出来形管理の資料は整理されている。	
			出来形計測値は規格値を満たしている。	
			現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。	
			自社の管理基準を設定し、管理が行われている。	
			出来形測定の見え部分は、工事記録写真により確認できる。	
			出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。	
		評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点	
	認	出来ばえ		構造物の形状外観及び通りは良好である。
			構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。	
			構造物の表面に、仕様書で規定されている欠陥がない。	
			構造物の表面の仕上げは、丁寧に均一に行われている。	
			隣接構造物との、取付け・すり合わせは良好である。	
			構造物の仕上がりは、使用目的・使用者の安全に配慮されている。	
			目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。	
			出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる。	
		評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点	

- 備考
- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、各ボックスに各点数を入れる。
 - 2 評価点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
(評価した項目の得点合計) / (評価した項目数×3) × 100
 - 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(建築)

	細目	評価	評 定 対 象 項 目
完	施工管理		提出書類は整っている。
			現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。
			施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。
			実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。
			契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。
			契約内容の変更について監督員と協議している。
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。
			官公庁届出など必要関係書類が整理されている。
			他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点
了	品質管理		品質管理に関して該当する項目を整理し、施工計画等に記載している。
			材料承諾関係書類が適切な時期、内容で提出されている。
			杭材料の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。
			鉄筋の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。
			鉄筋の圧接試験結果等が良好で、それを証明する資料が整理されている。
			コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されている。
			鉄骨の材料検査を実施し、規格または性能を証明する資料が整理されている。
			鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。
			建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が整理されている。
			塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されている。
			仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が整理されている。
			仕様書等の材料・施工規定等は守られている。
			材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
	評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点		
認	出来ばえ		杭芯のズレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好である。
			鉄筋の配筋状態が良好なことが確認できる。
			型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鏝ぐず、ゴミ等がない。
			コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好である。
			コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント・ジャンカが少ない。
			鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できる。
			鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。
			防水工事に関する納まり(水たまり、ふくれ、端部処理)は良好である。
			シーリング材が適材適所に使用され、納まりは良好である。
			タイルの張り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容を満足している。
			木工事の取付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題はない。
			各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は良好である。
			左官仕上げの状態に不陸、クラックがない。
			建具(ドア、サッシ類)の可動部分の不具合がない。
			ガラスの厚み、種類、留め材の施工は適切である。
	戸当たり、手摺、ハンドル類の取り付け位置等、使い勝手への配慮がある。		
	塗装の塗り残し、むらがなく施工が適切である。		
	仕上塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。		
	仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがない。		
	設備工事との取り合いに係る問題がない。		
	適切な養生が行われ、汚れや傷がない。		
	適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。		
	自社の管理基準による社内検査を実施し、これに合格している。		
	[改修]外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料がある。		
	出来形、精度の確保に向けた、創意工夫が見られる。		
	出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。		
	評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点		

- 備考
- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、各ボックスに各点数を入れる。
 - 2 評価点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
(評価した項目の得点合計) / (評価した項目数×3) × 100
 - 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(機械)

	細目	評価	評 定 対 象 項 目
完	施工管理		現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。
			施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等)
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
			他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。
			契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。
			契約内容の変更について監督員と協議している。
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。
			官公庁届出など必要関係書類が整理されている。
			関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
			評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点
了	品質管理		資材の品質や形状・規格を証明する資料が整理されている。
			社内検査を実施し、記録も整っている。
			承諾図書が整理されていて内容も適切である。
			耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が整理されていて内容も適切である。
			構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が整理されている。
			防錆・防食・防水・区画処理などに対する配慮が適切である。
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。
			主要機器の工場試験記録が整理されている。
			水圧・満水・気密・絶縁試験など、施工の品質確認方法が適切である。
			水質・系統・流量及び機能など、試運転時の確認方法が適切である。
			速度・機能など、試運転時の確認方法が適切である。
			機器・器具の動作確認、運転調整記録、測定記録などが整理されている。
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる
			評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (1×3))×100 = 0 点
確	出来形		各材質・規格及び寸法は設計図書に適合している。
			機器(ポンプ、空調機等)、その架台などの仕様・数量に問題がない。
			機器、その架台などの取り付け方法が適切である。
			貫通部の処理など、他との接点部分の施工が適切に行われている。
			塗装・防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。
			外部から明視できない部分の出来形を、写真その他記録等で確認できる。
			漏水・異音・異常振動・保守不能など機能を損なうような異常がない。
			完了時総合試運転における試験、機能確認内容が、現場状況と一致している。
			諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。
			付属品・納入品が用意されており、リストも整理されている。
			撤去・改修部分が設計図書に適合しており、処置も適切である。
			[管・空調等]器具(衛生器具、制気口、サーモ等)の仕様・数量に問題がなく、取り付けも適切である。
			[管・空調等]配管・ダクト・電路などの仕様・工法・サイズ・付属品等が設計図書に適合しており、現場状況とも
			[管・空調等]配管・ダクト・電路などの支持材の仕様・サイズ・支持間隔・勾配に問題がなく、堅牢確実に取り
			[管・空調等]配管の埋設深さ・埋設方法・勾配が適切である。
			[管・空調等]各樹類及び蓋の仕様・サイズが適切である。
			[管・空調等]保温の仕様・厚さ・施工箇所及び範囲が適切である。
			[管・空調等]冷媒などの封入記録が整理されており、試運転前の作業と点検・確認が適切である。
			[管・空調等]システム・施設全体での機能確認・試運転調整の記録が整理され、検査時に確認できる。
			[昇降機]構造体の構造・仕様・部材・組立寸法に問題がない。
			[昇降機]ロープ・シープ・歯車装置・シャフト・配管など伝動部の仕様・サイズ・固定方法が適切である。
			[昇降機]制御盤・電路の取り付け・固定方法が適切で、堅牢確実に取り付けられている。
			[昇降機]付帯設備・装備品の仕様は設計図書に適合しており、固定方法も適切である。
			[昇降機]走行・可動部分と他との位置・離隔が適切である。また、安全上の配慮がなされている。
			[昇降機]调速・制動装置が確実に作動し、それが確認できる。
			[昇降機]リミットスイッチ・地震感知器などの安全装置は確実に作動し、それが確認できる。
			[昇降機]連絡・通報・計測・制御装置は確実に作動し、それが確認できる。
			[昇降機]試運転前の作業と点検・確認が適切である。
	評定点 (評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点		

認	出来ばえ		使用者に対する安全性などに配慮がされている。
			運転操作、使い勝手に配慮がされている。
			機器などの更新が配慮がされている。
			保守・修繕・消耗品・部品取替などへの配慮がされている。
			細部に至るまで仕上がり状態は良好である。
			機器・器具の収まりがよく、他との整合が取れている。
			配管・ダクト・電路などの配置が適切で、収まり上無理がなく、他との整合が取れている。
			施工に統一性が見られ、ばらつきがない。
			表示・標識等が適切にされている。
			騒音・振動などが少なく、円滑な運転が確保されている。
			施工済み部分の養生が適切である。
			出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。
評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点		

- 備考
- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、各ボックスに各点数を入れる。
 - 2 評価点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
(評価した項目の得点合計) / (評価した項目数×3) × 100
 - 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 - 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。
 - 5 「管・空調等」とは、管工事・給水衛生・空調換気を示す。

検査成績評定項目別評定表(電気)

	細目	評価	評 定 対 象 項 目	
完	施工管理		現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。	
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。	
			産業廃棄物の書類が整理されている。	
			官公庁届出など必要関係書類が整理されている。	
			契約内容の変更について監督員と協議している。	
			契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。	
			施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。	
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。	
			他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。	
			関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。	
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。	
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。	
			施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。	
			評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点
了	品質管理		資材の品質や形状・規格を証明する資料が整理されている。	
			製造者による機材の試験が的確に行われ、資料が整理されている。	
			機器承諾図が整理されていて内容も適切である。	
			機器承諾図と現場に設置された機器とが一致している。	
			建築基準法、消防法その他関係法令で定められた資材、機材を使用して施工されている。	
			設計図書に明示された、機能、性能を証明する資料、書類が整理されている。	
			均一な施工がされている。	
			社内検査を実施し、記録も整っている。	
			耐震計算書、その他必要な計算書類が整理されていて、内容が適切である。	
			耐震計算書、その他必要な計算書類で確認された結果に基づき、適切に施工されている。	
			必要な施工の試験が実施され、記録が整理されている。又測定値は基準を満足している。	
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。	
			品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。	
			評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (1×3))×100 = 0 点
確	出来形		各機器の外観、構造、寸法が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(外観構造寸法検査)	
			各機器の性能が、試験機器を使用し、数値データの採取により、設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(性能検査)	
			点滅、運転・停止等の動作について、施工した工事の全体又は部分が設計値(設計図書)を満足し、バラツ	
			建物、施設等の施工範囲及び施工範囲外の設備も含めた全システムの総合試験が、設計値(設計図書)を	
			運転して、異音、異臭、過熱等の異常がない。	
			諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。	
			現場で試験確認の出来ない機器は、工場試験成績書又は出荷証明書等で照合・確認が出来る。	
			設計値(設計図書)に定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。	
			検査用測定機器の管理が適切である。	
			評定点	(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点
		認	出来ばえ	
	寸法にバラツキがなく、設計図書どおり施工されている。			
	品質・形状及び数量が適切に施工されている。			
	施工完了時の試験及び記録が適切である。			
	設計図書及び関連法規に適合している。			
	きめ細かな施工がされている。			
	関連工事との調整がされ、全体に調和がとれた仕上がりである。			
	建築電気設備としての品質・性能が確保されている。			
	使用者に対する安全性などへの配慮が適切である。			
	運転及び保守点検に対する配慮が適切である。			
	出来ばえ向上のための創意工夫が見られる。			
	評定点			(評価した項目の得点合計/評価した項目数×3)×100= (0 / (0×3))×100 = 点

- 備考
- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、各ボックスに各点数を入れる。
 - 評価点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
 $(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
 - 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 - 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。